



平成二年年度総会のご案内

木々の緑が日ごとに色めく季節になって参りました。会員の皆様、その後お変わりございましたら、

今年の総会は、港・横浜・中華街一のおいしいお店で開きます。会場探し、日程、お料理等すべて神奈川ブロックの役員の方々にお世話していただきました。

記

日時 平成二年五月十三日(日曜日) 受付開始 午前十一時

開会 午前十一時三十分

閉会 午後二時

会場 中国広東料理「萬珍樓」

〇四五―六八一―四〇〇四

横浜市中央区山下町一五三 中華街通り

(根岸線 石川町下車徒歩八分)

会費 金七千円也 年度会費十円を含む。

同封の振込用紙でお振込みください。

付記

◎当日欠席の方は年度会費(千円)をお振込み願います

(振替番号 東京九・四五四四)

◎当日会費・年度会費 合計七〇〇〇円の振込を出席通知に代えますので、出欠ハガキは同封いたしません。

◎ご出席の方は五月一日までにお振込みください、会費お振込後に出席をお取り消しになった場合、五月九日(水)までにご連絡あれば、当日会費分は後日精算させていただきます。

(連絡先) 〇三―九二―七三四〇小林 平成二年三月三十一日

上田高女・染谷丘高校東京同窓会会長

小林 ふき子

呼聲

発行責任者 上田高女・染谷丘高校 東京同窓会 会長 小林 ふき子 〇177 東京都練馬区 大泉学園町2-27-11 TEL 03-921-7340

港・横浜

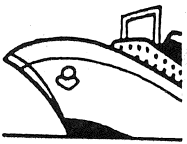
吉田 京子 高18回卒

今から二十年程前、私は横浜の山下公園近くの神奈川県庁に勤めていました。春になると、日本大通りのイチヨウ並木の芽吹き。やわらかな黄緑の萌え出る頃が一番好きでした。イチヨウを見てみると、信州の真っ青な空と唐松の芽吹きを思い出したものです。

イチヨウ並木は、秋までいろいろ変化し楽しめます。動きました。いまこの付近は、勤めていた頃と比べると、新しい建物も増えましたが古い重厚な建物とマッチして、異国情緒あふれる町並みです。県庁「キング」税関「クイン」開港記念館「ジャック」とそれぞれの塔には名前がつけられています。海岸通りには古いレンガ造りの倉庫もあり、若者に人気があるようです。桜木町駅から文明開化調の絵タイルをたどっていくと、地図なしでも、前記した場所も巡りながら、気がつくくと潮風香る山下公園に三十分位で着いてしまいます。

同じように、関内駅・石川町駅からも絵タイルをたどって、山下公園に歩けるコースがあります。また、関内駅北口からは、二階建バス「ブルーライン」が山下公園・中華街・元町経由で「港の見える丘公園」まで案内してくれます。

まだまだ見どころは沢山ありますが、一度横浜を歩いてみませんか。新緑が深まり風薫る五月、横浜中華街の同窓会でお会いしましょう。



叔母が九十歳とのことで、一月十三日から冬の上田に行ってきた。お祝いは浅草で羽子板を見つけた。床に入っても食事や人が見えると起きて、自分でおこたまで、はって来て、坐らせて貰えば、お餅でもお漬物でも何でも頂けるのです。頭もすっかりして、「今度は敬ちゃん達は来ないのか、元氣かね」と尋ねます。村には百歳近い方もあり、空気が良いし、塩分に気を付けたら、頼も赤々してきます。介護も大変ですが、リズムがあるので、いとも洋裁をしたりしています。日当たりの良い家で温室の様に盆栽の梅も咲いています。その夜は従姉妹

随

相心

山越 百合 本45回卒

と嫁さんと四人で田澤温泉に行きました。四人共、卒業生です。話は染谷の頃のこと、親類のあのお祖母さんは第一回の卒業生とか。「民生委員の大会に出たら、佐久から伴野テルさん、上田は吉村幸さん、塩田は箱山順ちゃんとお合ちゃんの友達、出たおいでたよ」とか、後でその幸ちゃんが「清水安子って誰?」と思

と、「ますや」は山に抱かれた三階建、天井高く、次の間付き手すり廊下に障子だけ、一晩中いくらストーブ焚いても、こたつにもぐりこんでも寒い寒い、地元の人も驚く程、それではお風呂へと三度も行って。その展望風呂は遠くって男湯と女湯別の入口から入ると中は大風呂、大石の間から勢い良くお湯が飛び出しています。すぐ前庭に桜の大樹、ずっと上田市、太郎山、烏帽子岳が見晴れます。男の人の気配に急ぎ上がりますと、「うちの主人です、ゆっくり入って下さい、三十分入らないと風邪をひきます」とこちら奥さん。市内の方で、冬もいいが桜の時は素晴らしい

ってたら山越安ちゃんなんて納得した、と話してたわよ」とか、あちこちで友人の元気な様子で嬉しい事です。「だんだんいつか行き逢えるかな」と上田の私、又来年も等と話している中、背中がスースーと、全館暖房より風情があるかと、藤村ゆかりの

と、普段せかせかしているの、ゆったりとは出来ず、「千曲川のスケッチは夏の話ね」と笑う。雪景色の大法寺と自分の信濃国分寺におまわりして、他の親類に行く元氣なく、十六日朝からの雪に、去年の同窓会や、前に私も春雪で国電がストップして大変だった事等思い出させて、早々横浜に戻って来ました。行き度いいきたいと出ては、すぐに帰る度くなる勝手な私です。が、気分はせいせいして、都会の雪は寒くなく、雪かき、元氣でしています。これからの級会や同窓会も、皆様の楽しい息抜きになればいいなあ、と思っているこのごろです。

「人間万事塞翁が馬」というけれど

坂口益子 本48回卒

平成の幕あけは、激動の始まりでした。歴史に大きく残されるであろう東欧諸国の動き、考えてみれば、敗戦から誰が今日の日本の発展を予想したのであるまいか。

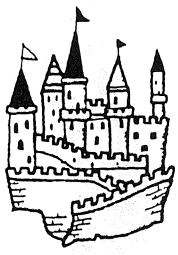
外国の旅をしてみても感じること、国の主義や政策により国民の生活レベルがこれ程に開いてくるものなのか、社会主義国の旅をしてみても、毒に思えます。自由に考え、主張し、行動できる国に生きていられることを実に有り難く感じるのである。

考えてみれば、あの時から学制も変わりましたね。以来四十年程の間に、公立学校は私立に追い越されている状態が続く、無気力で努力もしない生徒、また、それを放っておく大人。

今、この歴史的な世の中の流れに心を持たせよう、若者に望みたいのです。その辺から勉強の面白さも発見できると思えますし、豊かな国際社会に参加出来る気がします。

社会に出て大いに活躍できる人材をつくり出す土壌となる学校であってほしいと願います。単に会話が出来る国際的でなく。

「人間万事塞翁が馬」という諺の通り、近頃の社会の流れも大きく変化していますので、そろそろ公立の学校の良さを出して来てほしい時機のような気がします。とうとう離れた母校に夢を託す新春の記。



平成元年の総会云々より

樋口三枝 本47回卒

残暑のきびしかった九月も漸く去り、やっと秋の気配が其処此処に感じられる、さわやかな十月一日、平成元年度上田高女・染谷丘高校東京同窓会が、東京青山会館で行われ

ました。母校からは伊藤稔校長はじめ、岩下止代同窓会顧問、白鳥会長、須田・土屋両副会長様方が、揃って遠路お越し下さいました。

第一部の総会は、二階の会議室で行われ、式次第にのっとり、進行して参りました。平成元年五月に行われた臨時総会で討議された事項

東京同窓会も会員数が千名をはるかに越える会に発展したため、母校に見習い、東京、神奈川、千葉、埼玉等の支部に部分けする案

に、会長から詳細にわたって説明があり、皆様に、ご理解とご協力をお願いし、一部総会を滞りなく終了いたしました。

第二部懇親会は、地下一階ふじの間で開かれました。会場は前年同様に広々とした大広間、すてきなシャンデリアの元、金屏風を正面にピンクのクロスのかかった丸テーブルは、女学校の同窓会に相応

しく、華やいだ雰囲気もただよわせておりました。皆様席に着かれる間もなく来賓の方々、長野県人会連合会から藤原専務理事、上田高校同窓会から生島副会長

横山副会長、山崎幹事長、青柳・馬場両副幹事長の皆様、千曲高校から神林会長、田中副会長、松林事務局長の皆様をお迎えし、愈々宴に入り

ました。最高齢者の鶴川富貴子様、山本治様の音頭で乾杯が行われ、目の前に運ばれてくるフランス料理に手を伸ばしました。ビールを好む人

ジュースがいい人、はた又水割りも希望される人等、好みは様々でも話題は同じ、なつかしい思い出話、恩師の噂、友の其の後の音沙汰など、ご馳走を前におしゃべりはつきません。

あちこちからはさむ笑い声、宴なかばして照明がやや落とされ、音楽の流れる中を一組の男女が軽やかに踊り出す。社交ダンスのご披露でした。会場からは一斉に拍手々々。アンコールの拍手が鳴り止みませんでした。一呼吸おいて、今度は来賓の男性の方々が、一斉に壇上へ。

校歌、そして応援歌と、力強い歌声をプレゼントしてくださいました。

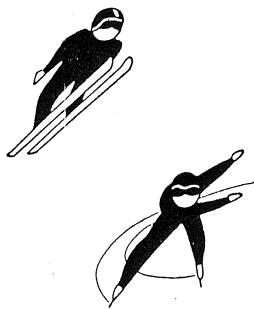
また、県人会の藤原様から、一九九八年冬季オリンピックをぜひ長野県に迎えたい由のお話がありました。県民の一人として、何とか実現できたらこんな嬉しいことはありません。ふるさとを、世界のスポーツの祭典に選ばれるのかと、心嬉しく思いました。

母校からの皆様も岩下様はじめ全員で合唱をと、思わず私も共会長はじめ有志数名が、一緒に、なつかしい「小諸なる古城のほとり」を精一杯合唱いたしました。楽しいとき、時の経つのは早いもので、お約束の時間も刻一刻とせまり、最後に全員で「信濃の国」をうたって、皆様のご健康をひそかに祈り乍ら、又来年も元氣にお会いしましょうと、楽しい想いを胸に散会いたしました。

おかげ様で平成元年度の総会も十月一日に事なく終わりました。お手伝い頂いた皆様一人一人御礼を申しあげざるべきなのですが、この紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

千人以上の会員をかかえ、新しい組織にしたかったので、四十二回卒の皆様にお手伝いを頂いて、次は少し若い方達にと順々に申し送ることができればと思ったのです。

母校の会報第十九号にのせましたようにブロック別にして新しい組織で出発することに致しました。最後に深井勝子様と橋本米子様には大変ご苦勞をおかけしました。大勢の皆様への連絡、又二回にわたる自宅開放、屋敷等のおもてなしまでして頂き、同窓会にかかわって、こんなに楽しい作業をしたのは、はじめてです、お二方様には特に感謝しております。



お礼にかえて

東京同窓会長

小林ふき子

四十二回卒業の皆様お元気ですか。昨年の夏は大変お世話になりました。

おかげ様で平成元年度の総会も十月一日に事なく終わりました。お手伝い頂いた皆様一人一人御礼を申しあげざるべきなのですが、この紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

千人以上の会員をかかえ、新しい組織にしたかったので、四十二回卒の皆様にお手伝いを頂いて、次は少し若い方達にと順々に申し送ることができればと思ったのです。

母校の会報第十九号にのせましたようにブロック別にして新しい組織で出発することに致しました。最後に深井勝子様と橋本米子様には大変ご苦勞をおかけしました。大勢の皆様への連絡、又二回にわたる自宅開放、屋敷等のおもてなしまでして頂き、同窓会にかかわって、こんなに楽しい作業をしたのは、はじめてです、お二方様には特に感謝しております。

元東京同窓会長 横田澄子様(本37回卒)は二月一日心筋梗塞のため急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 東京同窓会役員一同

編集後記

☆たんぽぽや 日はいつまでも 大空に 中村汀女 ☆心のはずむ季節―春― 冬眠から覚めたひきがえるが、 ゆうゆうと舗装道路を横切っ ていきました。

☆わずかな土をみつけてはこべが生え、ごきょうも黄色い花をつけています。

☆自然の動きに刺激され久々に会報ができあがりました。

☆経費節約のために、ワープロとコピーで仕上げてみましたが、いかがでしょうか。ご感想、ご批判をお寄せくださいます。

☆総会が二十余年ぶりで五月にもどりました。会場は、行動半径をひろげて横浜へ移動。☆見たたり聞いたたりためしたり、一点をみつめるだけでなく、動きのある同窓会に変身しましょう。

